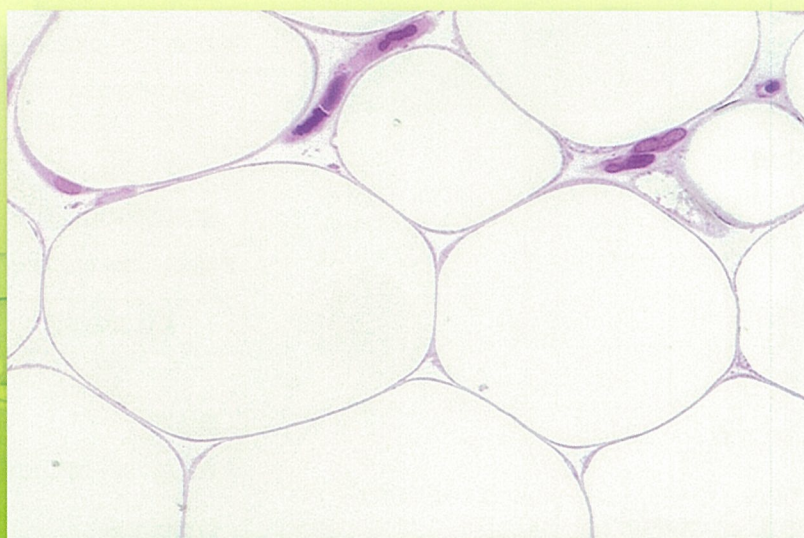


マウス/ラットアディポネクチン ELISAキット



ヒト内臓脂肪組織のトルイジンブルー染色像
(大阪大学大学院分子制御内科学提供)

次のことを大塚は検証しています。

- ラット/マウスのアディポネクチンの測定が可能です。
- 試料を5回まで凍結融解を繰り返したとき、測定値に影響は認められませんでした。
- 試料を冷蔵保管したとき、7日まで測定値に影響は認められませんでした。
- 試料を室温保管したとき、8時間まで測定値に影響は認められませんでした。

キットの特徴

- リコンビナント・マウスアディポネクチンを用いて作製した抗体による酵素免疫測定法 (ELISA法) です。
- 血清や脂肪細胞抽出液又は培養上清中のマウス及びラットアディポネクチンを特異的に精度よく簡便に測定することが可能です。

※ ラットアディポネクチン測定はマウスアディポネクチン当量となります。

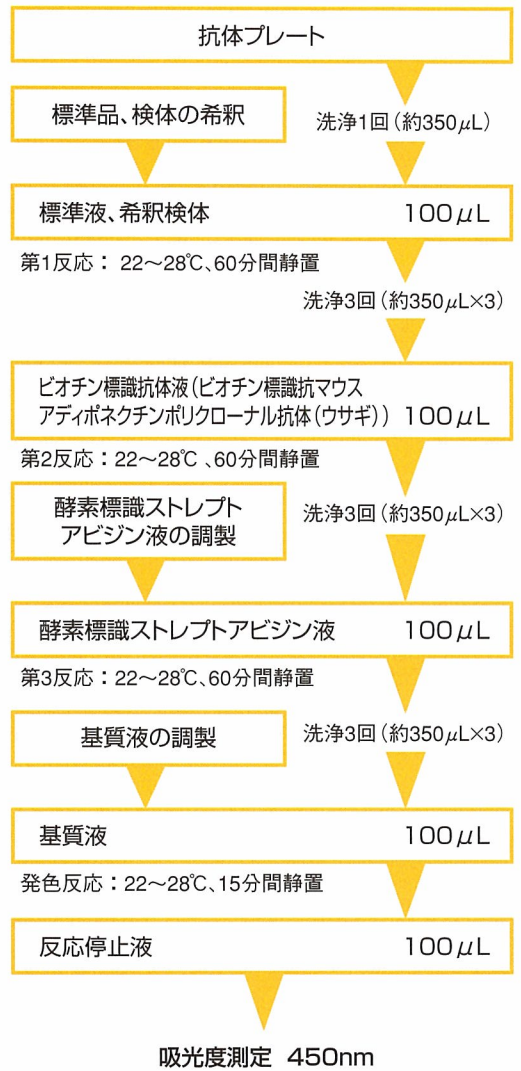
マウス/ラットアディポネクチン ELISA キット



キットの構成 (96テスト用)

①洗浄用原液	40mL×1ボトル
②検体希釈用原液	50mL×1ボトル
③抗体プレート 抗マウスアディポネクチン ポリクローナル抗体(ウサギ)固相プレート	96ウェル×1枚
④標準品8.0ng/mL リコンビナントマウスアディポネクチン	2mL×1チューブ
⑤ビオチン標識抗体液 ビオチン標識抗マウスアディポネクチン ポリクローナル抗体(ウサギ)	12mL×1ボトル
⑥酵素標識ストレプトアビジン原液 西洋ワサビペロオキシダーゼ標識ストレプトアビジン	0.1mL×1チューブ
⑦酵素標識ストレプトアビジン希釈液	15mL×1ボトル
⑧基質液A 3,3',5,5'-テトラメチルベンジジン	7.5mL×1ボトル
⑨基質液B 過酸化水素水	7.5mL×1ボトル
⑩反応停止液	15mL×1ボトル

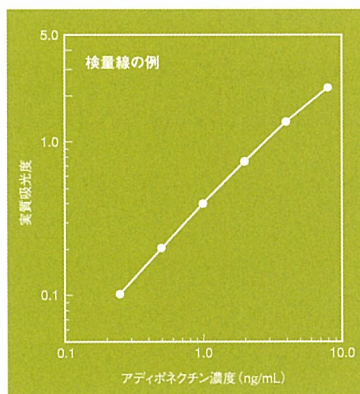
測定の流れ



キットの性能

測定範囲

0.25~8.0ng/mLのマウスアディポネクチンを測定することができる(右図)。また、自社施設において、最小検出限界は15.6pg/mLであった。

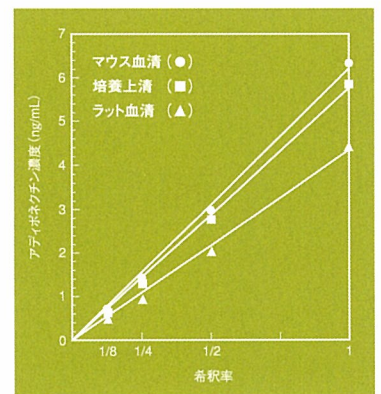


再現性試験

自社施設において、濃度の異なるマウス血清及び、ラット血清(各2種類)を同時に4回測定したとき、変動係数は10%未満であった。また、自社施設において、上記の検体を6回繰り返し測定したとき、変動係数は15%未満であった。

希釈試験

マウス血清、ラット血清及び、脂肪細胞(分化誘導させた3T3-L1)の培養上清を標準操作法に従い希釈後、2倍段階希釈して測定した。いずれのサンプルでも良好な希釈曲線が得られた(右図)。



感度試験

標準液8.0ng/mLの吸光度は1.0以上を示した。

製造販売元



大塚製薬株式会社

東京都千代田区神田司町2-9

問い合わせ先



大塚製薬株式会社 診断事業部

0120-489324

取扱い代理店